日本実務教育学会
The Japan Society for Professional Education Research

第１回大会プログラム

2021 年 11 月 7 日（日）

社会情報大学院大学（オンライン開催）

日本実務教育学会第１回大会実行委員会

学校法人先端教育機構
社会情報大学院大学
THE GRADUATE SCHOOL OF INFORMATION & COMMUNICATION

日本実務教育学会第１回大会の開催にあたって

日本実務教育学会第１回大会を 11 月 7 日（日）に開催いたします。2021 年 3 月に当学会が設立され、記念すべき第 1 回大会ではございますが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、やむなくオンラインで開催することとなりました。

大会は自由研究発表、総会、シンポジウム、懇親会（オンライン）から構成されます。

自由研究発表は、申込締切である 9 月 15 日（水）までに 21 本のお申込みをいただきました。大会実行委員会で発表資格や発表内容を確認し、全て受理させていただき「実践の理論」「組織学習」「授業デザインと実践」「生涯学習のデザインと実践」「実務家教員の役割と養成」の 5 つの部会を設定いたしました。いずれの部会も、各会員の実務領域、研究領域における最新の知見をご発表いただけるものと思っております。参加者の皆様には、ご自身がお聞きしたい部会にご参加いただけましたらと存じます。

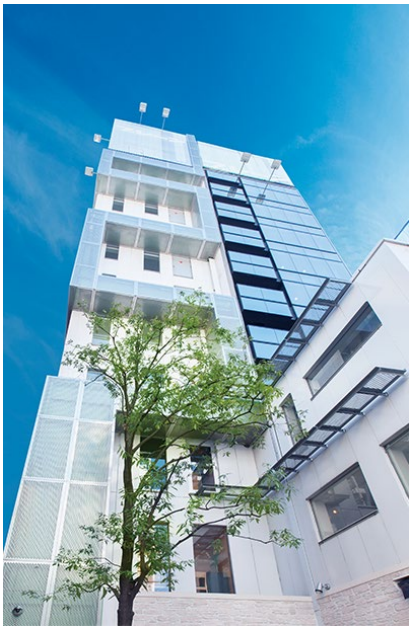
シンポジウムは、今後の高等教育機関に、どのような実務家教員、研究者教員が求められるのかを考えていくことを目的として「実務家の反省、研究者の反省―いま、高等教育機関に求められる教育研究の担い手像を探る―」と題しました。当該テーマにつきまして、研究者教員である佐藤浩章氏（大阪大学）、及び実務家教員である今永典秀氏（名古屋産業大学）にご報告いただきます。

自由研究発表の各報告者のタイトル、及びシンポジウムの趣旨につきましては、大会プログラムの内容をご参照ください。

そして、大会の最後にはオンラインでの懇親会もご用意しております。実務家教員と研究者教員のネットワークを築き、相互に切磋琢磨し、教育研究能力を高めていくことも本学会の目的ですので、懇親会への参加を通じて、ぜひとも懇親を深めていただけましたら幸いです。

自由研究発表、総会、シンポジウム、懇親会の参加方法につきましては、後日改めて参加者の皆様にお知らせさせていただきます。

第 1 回大会ということもあり、至らぬ点が多々あるかと存じますが、大過なく実施できるよう準備を進めてまいりますので、ご参加、ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。



第１回大会実行委員会
委員長　　川山　竜二

大　会　案　内

1.　大会日程

- 2021 年 11 月 7 日（日）

2.　実施スケジュール

- 10:00～12:00　自由研究発表Ⅰ～Ⅴ
- 12:00～12:30　総会
- 12:30～13:30　昼休憩
- 13:30～16:00　シンポジウム
  「実務家の反省、研究者の反省
  ―いま、高等教育機関に求められる教育研究の担い手像を探る―」
- 16:00～18:00　懇親会（オンライン）

3.　大会参加方法

- 大会への参加をご希望される方は下記 URL よりお申し込みください。
  https://jsper.coep.jp/convention/
- 大会に参加される方は、以下に記載の金額を **10 月 29 日（金）まで**にお支払いください。
  - 会員（正会員・仮会員）　5,000 円
  - 非会員　10,000 円
- 大会はオンライン（Zoom による）で実施します。自由研究発表、総会、シンポジウム、懇親会への参加方法等は別途メールでお知らせします。

4.　自由研究発表要領等

- 発表時間：発表 15 分、質疑 5 分（計 20 分）
- 全体討議：20 分
- 発表経過時間は「5 分経過」「10 分経過」等、Zoom のチャット機能を通じてお知らせします。
- 発表者がやむをえない理由により欠席する場合には、速やかに学会事務局（jsper@coep.jp）までメールでご連絡ください。なお、その場合、発表時間と発表の順番の繰り上げは行わず、司会者の判断により、休憩または討議の時間に当てます。

5.　発表要旨集録

- 『発表要旨集録』は大会参加者の方を限定に、データで配布いたします。

6.　問合せ先

大会に関してご不明な点がございましたら、学会事務局までご連絡ください。
MAIL：jsper@coep.jp／TEL：03-6273-8840

自由研究発表Ⅰ
―実践の理論―

司会：宮前善充（就実大学）

9:55　開会

10:00～10:20
国連における実務経験の分析とその応用―グローバルスタディーズへの課題―
○山田真弓（立命館大学）

10:20～10:40
ポストコロナ時代の新しいストレスチェックを創る試み―省察的実践の例としての検討―
○岩瀬利郎（東京国際大学）

10:40～11:00
「実務の棚卸し」と「実践知の社会的布置」に関する自己理解の促進の方法論的検討
―実践者・実務家の省察のあり方としての Auto-TEM を例として―
○五十嵐篤（社会情報大学院大学実務教育研究科）
伴野崇生（社会情報大学院大学）

11:00～11:20
実践の理論とはいかなるものか―機能システムの反省理論を手掛かりに―
○川山竜二（社会情報大学院大学）

11:20～11:40　全体討議

自由研究発表Ⅱ
―組織学習―

司会：坂本文武（社会情報大学院大学）

9:55　開会

10:00～10：20
官公庁における調達契約実務の知識体系化と稟議制の検討
○中山陽右（国立研究開発法人理化学研究所）

10:20～10:40
『令和時代の新ビジネスコミュニケーション術』
～オンライン会議、リモートワーク、ZOOM 面接でのオーダーメイドの伝え方とは？～
○桑田明（城西大学）

10:40～11:00
企業内人材育成を効果的に行うための教え方・学び方
～リアル・ワークフローエデュケーション＆ラーニング～
○田原祐子（社会情報大学院大学）

11:00～11:20
組織における自己変革人材教育の研究
～「所属組織からの越境」「他者との対話による自己省察」の観点から～
○成瀬岳人（社会情報大学院大学実務教育研究科）
伴野崇生（社会情報大学院大学）

11:20～11:40　全体討議

自由研究発表Ⅲ
―授業デザインと実践―

司会：篠田雅人（社会情報大学院大学）

9:55　開会

10:00～10:20
実務経験を生かした英語科目における実践授業における Bloom's Taxonomy（改訂版）の位置づけ
○豊田典子（新潟医療福祉大学／
S&N Information Limited）
住本時久（非会員・神田外語大学会議通訳）

10:20～10:40
効果的なアクティブラーニング型授業を実施するための学習者発言割合の測定方法
○青木太郎（日本 BLS 協会）

10:40～11:00
租税教育における実務家教員と教育方法の研究の必要性
○大日方誠（大日方誠税理士事務所／
神奈川大学法学部非常勤講師）

11:00～11:20
実務経験を活用したジェネリックスキル修得を促す教育
○彌島康朗（敬愛大学）

11:20～11:40
学生とのギャップを埋め、実務家の強みを活かす授業設計と実践
○市村光之（横浜国立大学）

11:40～12:00　全体討議

自由研究発表Ⅳ
―生涯学習のデザインと実践―

司会：富井久義（社会情報大学院大学）

9:55　開会

10:00～10:20
大学における学部横断した学生構成によるキャリアゼミの運営～ハウス制導入とその検証～
○池田千恵美（ソーシャルデザイニング研究所／
東洋大学・非常勤講師／
日本大学・非常勤講師）

10:20～10:40
共創型コミュニティにおける戦略としてのデザインに関する考察―なごや朝大学の事例をもとに―
○龍頭聡（株式会社電通）
竹内詩織（株式会社電通）

10:40～11:00
サードプレイス型組織におけるミディエーターの役割と資質
○竹内詩織（株式会社電通）
龍頭聡（株式会社電通）

11:00～11:20
人生 100 年時代における生涯学習戦略の考察
―「ケイパビリティ」の視点による生涯を通じた付加価値発揮について―
○脇拓也（協同組合金融機関勤務）

11:20～11：40　全体討議

自由研究発表Ⅴ
―実務家教員の役割と養成―

司会：丸山和昭（名古屋大学）

9:55　開会

10:00～10:20

実務家教員の資質能力向上に向けた研修プログラムの構想（１）

―全国国公立大学の FD 取組状況の現状把握―

○廣谷貴明（社会情報大学院大学）
田口侑果（社会情報大学院大学）
眞﨑光司（社会情報大学院大学）
伴野崇生（社会情報大学院大学）

10:20～10:40

実務家教員の資質能力向上に向けた研修プログラムの構想（２）

―次世代高等教育研究センターの取組―

○田口侑果（社会情報大学院大学）
廣谷貴明（社会情報大学院大学）
眞﨑光司（社会情報大学院大学）
伴野崇生（社会情報大学院大学）

10:40～11:00

地域連携・産学協働教育における実務家教員の活躍可能性

―実務家教員によるインターンシップを中心としたプログラム開発・実践事例より―

○今永典秀（名古屋産業大学）
松林康博（名古屋経済大学）

11:00～11:20

専門職大学における実務家教員の役割と実践―経営専門職学科の事例より―

○松林康博（名古屋経済大学）
今永典秀（名古屋産業大学）

11:20～11:40　全体討議

シンポジウム

実務家の反省、研究者の反省
―いま、高等教育機関に求められる教育研究の担い手像を探る―

【時間】

- 11 月 7 日（日）13:30～16:00

【登壇者】

- 川山竜二（モデレーター・社会情報大学院大学）
- 佐藤浩章（研究者教員・大阪大学）
- 今永典秀（実務家教員・名古屋産業大学）

【趣旨】

日本実務教育学会は、実務家教員が会員相互に切磋琢磨して、教育能力や研究能力を高めていく場として、また、実務家教員といわゆる研究者教員が相互に協力して、実務家教員養成の効果的なありかたを検討していく場として設立されました。

設立の背景にあるのは、社会での実践において培われた知を学術における知と融合させて新たな知を産出すること、それに、学生の卒業後の実務経験に直接結びつくような知識や能力を身につけるような教育を担うことなど、実務家教員が高等教育機関において活躍することへの期待の高まりです。

これらの期待は、これまでの高等教育機関のありかたにたいする反省の上に立っていると考えられます。曰く、「教育に関する産学連携はまだまだ不十分」（持続的な産学共同人材育成システム構築事業公募要領）、「画一的な、教育を提供する側が考える教育から脱却」することが必要（2040 年に向けた高等教育のグランドデザイン（答申））。実務家教員は、これらの課題に対応する変革のエージェントたることを期待されているわけですが、こうした言明は、暗黙理に、こうした課題に研究者教員のみでは太刀打ちできないという評価を含んでしまっています。

他方で、実務家教員にたいして、批判的なまなざしが向けられることもあります。曰く、「過去の実務経験は次第に陳腐化〔する〕」「単なる実務経験は個別事象としてバラバラ」（武嶋俊行 2010）、「講演はできるが、講義はできない」「講義はできるが、授業はできない」「授業はできるが、指導ができない」（妹尾堅一郎 2007）。実務家教員はすなわち、実務に関する知見を理論化した上でつねにアップデートを図る実務能力を有し、その上で、高等教育機関の期待に応えるような教育研究能力を有することが期待されているわけですが、対比的な見方をすれば、研究者教員は比較的こうした能力を有しているということがいえる、ということになります。

とはいえ、高等教育の現場を俯瞰してみれば、研究者教員や実務家教員に向けられるこれらの批判的なまなざしは、それぞれ一方のカテゴリに位置づけられる教員がそれのみを意識すればよいというものではなく、実務家教員・研究者教員とも意識してしかるべき性質のものだといえます。今後の高等教育において教育研究を充実させるために、その担い手となる教員が有すべき能力やスキルとはどのようなものか、という視点は共通して貫かれているからです。そのような見方にたてば、教員としての来し方を反

省し、その上に立って教員としての行く末を展望することは、近い将来に高等教育機関に求められる教育研究の担い手像がどのようなものを探る重要な作業になると考えることができます。

そこで本シンポジウムでは、今後の高等教育のありかたを、大上段に語るのではなく、参加者自身の経験をふりかえるなかで展望することを試みたいと思います。具体的には、現職の実務家教員と研究者教員の双方に登壇いただき、これまでのみずからの教育研究、それに実務への取り組みについてふりかえることをきっかけとして、今後のあるべき高等教育における教育研究の担い手像について討論していただきたいと思います。

フロアのみなさんにもコメントをつうじてご参加いただくことで、実務家教員・研究者教員としての教育研究、実務にかんする蓄積や、今後あるべき姿についての知見を交換できれば幸いです。

名古屋市立大学
NAGOYA CITY UNIVERSITY

進化型実務家教員養成プログラム

TEEP
Training for Emerging Educators and Practitioners

コンソーシアム

連携校　岐阜薬科大学・高知県立大学・中京大学

特徴
- 「履修証明制度」に基づく履修証明プログラム
- PBL（課題解決型学習）とIPE（多職種連携）を活用
- 実務領域診断カルテ（ポートフォリオ）の導入

2021 11/18（木）　参加費 無料

シンポジウム&同日ワークショップ開催

Zoomによるオンライン開催（要予約・先着順）

シンポジウム 14:00～16:30
ワークショップ 18:30～20:00

主催／●名古屋市立大学 ●TEEPコンソーシアム運営委員会
後援／●名古屋市 ●愛知学長懇話会

シンポジウム・ワークショップへのお申込等詳しくはWebへ　TEEP　https://teep-consortium.jp

KOSEN型産学共同インフラメンテナンス人材育成システムの構築

代表校：舞鶴高専，連携・協力校：福島高専,長岡高専,福井高専,香川高専,放送大学,長岡技術科学大学

KOSEN-REIM
KOSEN-Recurrent Education of Infrastructure Maintenance

“地元のインフラは地元で守る”をモットーに，**地方における建設技術者の技術レベル向上**を目指し，**高専におけるインフラメンテナンス分野のリカレント教育と人材育成を担う『実務家教員』を育成**します。

文部科学省「持続的な産学共同人材育成システム構築事業」中核拠点校開発プログラム

実務家教員育成研修プログラム

21'開催中！
22'受講生
来春募集！

- 対象　技術士又は技術士相当の資格を有し，高度な実務能力と相当の実務経験を有する者
- 概要　７月～２月（約８カ月間），月１～２回（全７回，９日間），土日開催
- 定員　１０名
- 会場　大阪市内又は舞鶴高専社会基盤メンテナンス教育センター（ｉＭｅｃ）

実務家教員の教養講座 → 実務経験と専門性の棚卸講座 → 実践講義力養成講座 → リカレント教育体験講座 → 教育能力養成講座 → 実証講座教育実習 → プログラム修了評価

学修時間合計：90時間（e-learning：30時間，講習会：60時間）

お問合せはKOSEN-REIM事務局まで（場所：舞鶴高専iMec内，TEL：0772-62-8877，MAIL：kosen-reim@maizuru-ct.ac.jp，WEB:「KOSEN-REIM」で検索）

実務家教員として、活躍し続けるために

23科目の
充実のプログラム

配信コンテンツの
視聴と課題提出

＋

年4回のスクーリング

社会情報大学院大学
次世代高等教育研究センター（NHERC）

実務家教員 FDプログラム

（ファカルティ・ディベロップメント）

受講生募集！
〆切
1月17日（月）

実務家教員として活躍されている方、及び実務家教員養成に関連する教育プログラムを修了した方の「教育・研究能力の質保証」に貢献することを目指し、実務能力・教育指導力・研究能力を継続的に更新していただくための教員の能力開発・向上（Faculty Development）研修プログラムを提供します。

オンラインワークショップ開催
「おとなの学びを考える」

講師： 伴野 崇生
（社会情報大学院大学 実務教育研究科 准教授）

日時： 12月11日（土）
13:00 ～ 15:00

費用： 無料（要事前申込）

場所： オンライン
（Microsoft Teams）

お申込はこちら

受講生募集概要

応募対象
①実務家教員として活躍されている方
②実務家教員養成の教育プログラムを修了されている方

在籍可能期間
2022年2月1日～ 2023年2月28日
※最短で2022年9月末日の修了が可能

受講料 200,000円（税込）

学校法人 先端教育機構
社会構想大学院大学

2022年4月、社会情報大学院大学は
社会構想大学院大学へ名称変更いたします。
〒169-8518東京都新宿区高田馬場1-25-30

説明会 随時 開催中
Web予約制。
ホームページより
お申し込みください。
NHERC 説明会

日本実務教育学会第 1 回大会プログラム

日本実務教育学会第 1 回大会実行委員会
委員長　川山　竜二
委員　　篠田　雅人
委員　　廣谷　貴明

発行者　日本実務教育学会第 1 回大会実行委員会

問合せ先　日本実務教育学会事務局
〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 1-9-2 （一社）教育人財開発機構内
MAIL：jsper@coep.jp／TEL：03-6273-8840